

令和7年度研修講座「学校運営の一層の充実と活性化を促進するマネジメント」開催要項

1. 目的

事務職員が教職員と連携・協働しながら、学校の教育目標の実現に向けた取組を進めていくため、教育や学校の現状・課題並びにその本質的な理解にかかる専門的な知見を身につけ、学校組織における唯一の総務・財務等に通じる専門職として、学校運営の活性化に主体的・自律的に関わることのできるマネジメント能力を向上する。

2. 主催

(独) 教職員支援機構 (NITS) 岡山大学センター

<https://edu.okayama-u.ac.jp/~kyoujissen/nitsindex.html>

担当：梶井一暁 (岡山大学大学院教育学研究科) kkajii@okayama-u.ac.jp

3. 対象

・倉敷市小・中学校

令和7年度「持続可能な倉敷市の創り手をはぐくむ学校における事務職員の役割」に参加した者

・全国公立小中学校事務職員研究会岡山支部・関連支部

令和7年度岡山支部第1回研修会、第2回研修会、全国公立小中学校事務研究大会（滋賀）のいづれかに参加した者

4. 令和7年度研修講座「学校運営の一層の充実と活性化を促進するマネジメント」

(1) 対象

上記3の研修に参加し、追加研修を希望する事務職員、各10～20名程度

(2) 期日・会場

令和8年2月16日（月）

岡山大学共創イノベーションラボ KIBINOVE コネクトスタジオ（5F）（津島キャンパス）

(3) 日程等

*事情により、時間や内容、会場は変更することがあります。ご容赦ください。

時 間	形態等	内 容 等	講 師 等
9:15～9:30	受付		
9:30～9:45	開会	研修のねらい	NITS岡山大学センター
	講義	学校の成り立ちとその意義 (教育の理念と本質) ①世界 ②日本	岡山大学 教授（特任）尾上雅信 教 授 梶井一暁
9:45～10:45			
10:55～11:55			
11:55～12:50	休憩・昼食		
12:50～13:40	演習	学校の教育目標をふまえた事務職員と教員の協働	岡山大学 准教授 平田仁胤
13:40～13:50	休憩		
13:50～15:50	演習	授業についての考察・交流	岡山大学教職大学院 玉野市立山田中学校 教諭 河村陽介
15:50～16:00	休憩		
16:00～16:50	講義・演習	学校の教育目標の実現を図る事務職員の専門性 (研修の振り返りを含む)	岡山大学 教 授 高瀬淳 准教授 金川舞貴子
16:50～17:00	閉会	アンケート、修了証	NITS岡山大学センター

*修了者には、教職員支援機構岡山大学センターによる修了証が授与されます。

■研修講座のねらいと特色

学校を取り巻く内外環境の複雑化により、各学校は、教職員による個業の総和をこえるチームとしての高い業績・成果をあげることが求められる。そのためには、事務職員と教員が「チームとしての学校」の一員として、異なる立場からの意見を互いに尊重しあいながら、検討・合意形成していくことが必要である。しかし、事務職員が少数職種の行政職であることから、学校の教育目標の実現に向けた取組について、教員と対話する機会が必ずしも多くない。教員も、教育にかかる専門職として、様々な問題を教員同士で検討することが一般的であり、事務職員の専門的な知見を活用しようとする機会が少ない。

このような状況から、各学校では、学校の教育目標に向けた取組を事務職員と教員の「関わりあい」を促し、学校の協働文化の醸成を図っていく状況をつくりだすことが必要である。そのためには、事務職員と教員が、学校や教育の理念や意義に関する理解という点で共通の専門性をもち、目指す学校、児童生徒及び地域等の姿を語りあうことのできる同僚として相互に認めあうことが期待される。

本研修講座は、事務職員を主な対象として行う。形態は演習と講義を設定する。

事務職員は、学校に必置の職と定められている一方で、養成や採用の段階で、必ずしも学校や教育の理論や本質にかかる専門的な知見が求められているわけではない。この点をふまえ、講義では、学校や教育に関する理念や意義の理解に向けた考察を取り入れる。そして、演習では、授業についての考察を現職教員とともにを行い、教育目標の実現に向けた授業のあり方を、事務職員と教員の視点を交えて検討することを予定している。また、演習では、学校の運営上の事例を題材としながら、グループワークやケース・メソッドを取り入れることも予定している。

これらのことを通じ、学校における教育活動やその継続的な改善に向けた取組に提案性をもって参画する事務職員の専門性の向上を図る。

■期待される成果（事務職員の姿）

学校や教育の本質に関する基礎的な知見を得ることにより、学校の存在意義や役割について理解を深め、自らの学校観・教育観の形成・振り返りに向けた契機とすることができる。

「チームとしての学校」の一員として、勤務校における教育目標の設定やその実現を図る取組について、児童生徒に対する直接的な指導に携わる同僚教員と協議していくことの重要性を理解し、学校の組織的な営みに主体的に関与していくこうとする。

検証に当たっては、事務職員の学校運営に関する取組において、どのような変容があったか（なかつたか）について、受講者による自己評価の変容を追跡して実施したい。また、可能であれば、管理職等（校長、副校長、教頭、共同実施組織の事務長など）への聞き取りを実施し、今後の研修講座の内容・方法に反映させる。

【教職員支援機構岡山大学センター担当者】

尾上 雅信 岡山大学大学院教育学研究科・教授（特任）

梶井 一暁 岡山大学大学院教育学研究科・教授 [担当] kkajii@okayama-u.ac.jp

金川舞貴子 岡山大学大学院教育学研究科・准教授 [副センター長]

熊谷慎之輔 岡山大学大学院教育学研究科・教授

高瀬 淳 岡山大学大学院教育学研究科・教授 [センター長]

平田 仁胤 岡山大学大学院教育学研究科・准教授

5. 申し込み

(1) 期限

令和8年1月26日（月）

(2) 方法

倉敷市の方は、下記URLの申込フォームに必要事項を入力し、申し込みください。

<https://forms.gle/rAaNsVAmeiYdL79g8>



※全事研の方は、岡山支部で案内する申込みフォームで手続きください。

(3) 問い合わせ

不明な点は、梶井（担当）まで問い合わせください。

e-mail : kkajii@okayama-u.ac.jp tel. 086-251-7708

なお、倉敷市教育委員会関係のアドレスからのメール（@kurashiki-oky.ed.jp）は、岡山大学で受信できない状況があるようです。問い合わせに対し、当センターから返信がない場合、他のメールアドレスで送ってみてください。

(4) 資料

研修の資料などはあらためて連絡いたします。

ノートパソコンやタブレットなどの端末をお持ちいただき、ご利用ください。

6. 昼食

昼食はご参加のみなさまでご準備ください。大学生協の食堂・売店は営業予定です。

7. 交通アクセス

岡山大学ホームページ（共創イノベーションラボ KIBINOVE）…新しい施設です。

<https://www.orsd.okayama-u.ac.jp/kigyo/kibinove/>

アクセスマップ

広域 <https://www.orsd.okayama-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/oumap2.png>

詳細 <https://www.orsd.okayama-u.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/kibinovemap2.png>